

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム夢咲園

目標達成計画

作成日: 平成 24年 5月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・特に援助、介助を必要とされる方々の身体を動かす機会が限られている。食事、排泄、入浴、椅子に座っての体操などで、決して十分なものではない。	・広いホールや廊下、テラス等を活用し、生活でのリハビリに加え、身体機能の維持、向上を図る。	・廊下の手すりや、テラスの手すりを使って楽しみながらできる立位保持や下肢筋力の訓練。 ・長く、広い廊下を活用し、歩行訓練を行う。 ・1人ではなく、共に暮らす人たちと励まし合い、喜び合いながら関わりを深めるとともに進めていく。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。